

悪性黒色腫の原発巣切除後に局所皮弁を行った患者の予後に関する研究

研究協力のお願い

当科では「悪性黒色腫の原発巣切除後に局所皮弁を行った患者の予後に関する研究」という研究を学校法人日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2015 年 4 月 1 日より 2024 年 3 月 31 日までに日本医科大学付属病院皮膚科にて、外科的治療を受け、局所皮弁もしくは植皮による再建術を行われた、悪性黒色腫の患者さん。

2. 研究の目的

この研究の目的は外科的治療を受け、局所皮弁もしくは植皮による再建術を行われた、悪性黒色腫の患者さんについて予後を評価することにより、予後が異なるのかどうか明らかにすることを目的とします。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学付属病院で実施する研究で、研究責任者は皮膚科 帆足俊彦、研究事務局は皮膚科 田中勇樹です。2015 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までに日本医科大学付属病院皮膚科にて、外科的治療を受け、局所皮弁もしくは植皮による再建術を行われた、悪性黒色腫の患者さんの臨床データなどを統計解析し、予後についての検討を行います。

研究実施期間は実施許可日から 2030 年 12 月 31 日までです。

この研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、原発巣の部位・状態、病理組織学的所見、切除範囲、皮弁の部位もしくは植皮の採皮部位、皮弁・植皮の状態、転移の有無、画像所見、血液・尿検査など

実施許可日：実施許可日

情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

この研究に関する情報は、個人が容易に特定できないように記号化した番号により管理されます。情報は施錠可能な皮膚科医局内に設置された、インターネットに接続されていないパスワード保護されたパーソナルコンピュータにそれぞれ保管されます。患者さんの個人情報を個人が特定できる形で使用することはありません。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。なお、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学付属病院 皮膚科 帆足 俊彦

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号 : 03-3822-2131 (代表) 内線 : 27513

メールアドレス : t-hoashi@nms.ac.jp